

## zoom セミナー

# 第17回市民講座のご案内

臓器移植法を問い直す市民ネットワークでは、2012年6月より市民講座を開催してきました。本年は市民講座を始めて10年目になります。

今回の市民講座には、講師に児玉真美さんをお迎えします。児玉さんは当ネットワークの記念すべき第1回市民講座で講師を務めて下さいました。私たちが児玉さんを知ったのは彼女のブログ『アシュリー事件から生命倫理を考える』でした。そこには「安楽死・尊厳死・無益な治療論」をめぐる英語圏のニュースの数々が翻訳されて紹介されていました。臓器移植先進国と言われる国々で何が進行しているのか!そのブログから私たちは驚くべき事実を知ることが出来たのです。

この10年、日本でも命の線引きと切り捨てるの実態は加速的に進行しています。10年間で引き起こされた様々な事件や医療現場での実態、臓器移植とのつながりについてもお話して頂きます。

多くの方のご参加をお待ちいたします。



■日時：2021年11月6日（土）14時～16時

■講師：児玉真美さん（フリーライター）

◆講演タイトル

「加速していく命の線引きと切り捨て  
——安楽死・『無益な治療』論・臓器移  
のつながり」



植

【講師プロフィール】1956年生まれ。広島県在住。フリーライター。一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事。1987年生まれの長女に重症心身障害がある。単著に『アシュリー事件—メディカル・コントロールと新・優生思想の時代』（生活書院）、『死の自己決定権のゆくえ—尊厳死・「無益な治療」論・臓器移植』（大月書店）、『殺す親 殺させられる親—重い障害のある人の親の立場で考える尊厳死・意思決定・地域移行』（生活書院）、『私たちはふつうに老いることができない 高齢化する障害者家族』（大月書店）など。共著に『〈反延命〉主義の時代—安楽死・透析中止・トリアージ』（現代書館）、『見捨てられるくいのち』を考える—京都 ALS 囑託殺人事件と人工呼吸器トリアージから』（晶文社 2021年10月下旬刊行予定）。



●参加申し込み（今回の市民講座は無料です。）

お名前、所属、e-mailアドレスを [abdcnet@gmail.com](mailto:abdcnet@gmail.com) までご連絡下さい。

〆切は2021年11月4日（木）、定員100名まで先着順。

臓器移植法を問い直す市民ネットワーク  
携帯：080(6532)0916 e-mail：[abdcnet@gmail.com](mailto:abdcnet@gmail.com) ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/abdcnet>

